

消費者モニター 活動報告

第49回 消費者モニター会議

2011年5月27日、公募によって選ばれた11名の“食のサポーター”による第9期消費者モニター会議がスタートしました。“地域に愛され、親しまれる林兼産業(株)へ”をテーマにサポーターの方々のご意見を伺い取組んでまいります。

緊張の面持ちの中、橋本社長より挨拶の後「1年間よろしくお願いします」と一人ひとりに委嘱状を手交し、自己紹介をして第9期が始まりました。林兼産業(株)に対するイメージをどのようにお持ちか伺った後、事業概要やこれまでのモニター会議の経過と成果の説明を行い、理解を深めていただきました。午後には工場見学を行い、皆さん、お疲れになった様子でしたが最後の霧島黒豚の試食では和気藹々と会話もはずみました。

会議風景



橋本社長よりご挨拶。



1年間よろしくお願いします。
委嘱状の手交



林兼産業(株)のイメージは？
いきなりグループ討議。

これまでの活動報告を
スタッフから説明



工場見学では
できたてのソーセージを

コンベアを大量に流れる
ベビーハムに
「すご~い！」



「脂肪は皆さん遠慮されがちですが、
霧島黒豚の脂肪はとても美味しく
あっさりしています。」
ナルホド！ナルホド！

サポーターの方々のコメント

これまでの林兼産業(株)のイメージは？

- ・ 魚肉ハム・ソーセージの印象が強い。
- ・ 地元の食品製造会社。
- ・ 小学校の頃、工場見学に来た思い出がある。
- ・ 飼料を専門に製造している企業。
- ・ 地元の大手食品会社。
- ・ 黒豚を飼育している。
- ・ 霧島ハムの製造元。

第1回に参加してイメージに変化はありましたか？

- ・ うまかぶり、赤鶏さつまなど自然環境の良いところで、衛生的に独自の飼料で飼育されていることを知った。
- ・ 林兼と言えば、魚肉ソーセージの会社だと思っていたが、業務内容が食品だけでなく、飼料の製造、黒豚の飼育、ぶりの養殖など関連事業が多いことを初めて知った。
- ・ 「ウイナー教室」「小学生の工場見学」といった取組みは、会社と地元の重要な窓口になっているように感じた。
- ・ ぶりの養殖や黒豚の飼育等、専用飼料の開発から処理加工に至るまでの一貫したシステム等知らない事が多く、印象は変わり会社を詳しく知る事ができた。
- ・ 林兼産業は安心安全な食品を作っている企業であることを確信した。
- ・ 機能性食品を製造販売していることを初めて知った。

消費者モニター制度について

- ・ なんて楽しい制度だろう！が第一印象。
- ・ 一般の人が企業の内部に入り込める機会がめったにないので興味が湧く。
- ・ 年齢層の異なるモニターが採用されて、他の人の話が勉強になる。
- ・ 我々モニターの意見がこれからの会社に役立つように努めたい。
- ・ 第一期からのモニターの方とのつながりが続けられていることに感心し、嬉しく思った。
- ・ 実際の消費者の意見を大切にするための素晴らしい制度だと思う。
- ・ この活動で林兼産業(株)のことをもっと知って、私なりに企業のPRをしたい。
- ・ コツコツと信頼を積み上げてきた企業イメージが見て取れる。

霧島黒豚について

- ・ バラは、口に入れたらとける感じで美味だった。
- ・ 家族は、最初脂身の少ない肩ロースを食べていたが、食べていくうちにバラの脂身が甘くて美味しいとバラのほうからなくなった。
- ・ 一番の驚きは、日頃、量を食えない次女が「美味しい、美味しい」と驚くほど食べたこと。
- ・ バラは、さすが！脂の甘みが美味しく、やわらかくて、舌触りがとても良かった。
- ・ 肩ロースは、お肉のうまみが最高で、もちもちした食感が良かった。
- ・ しゃぶしゃぶで食べたが、灰汁があまり出ないのも肉質が良いからか。
- ・ 脂の部分が透き通っていて甘味があった。
- ・ これまでに豚肉を使った鍋料理は数え切れないくらい食べたが、脂っぽくなく美味しく食べられた。飼料が良いからだろうか。
- ・ 家族一同「美味しい！」が第一声であった。臭みがない、脂に甘味がある、ジューシーというのが評価であった。